

鈴鹿市の外郭団体の 経営等の状況について

～平成23年度～

平成18年6月2日に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が施行されたことに伴い、地方公共団体が資本金、資本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している法人に対しては、その職員数及び職員の給与に関する情報を公開するよう要請されました。

そこで、本市の外郭団体においても「第三セクターに関する方針」に示された「地方公共団体による情報公開の様式例」を参考に、「外郭団体経営等状況表」を作成し、ここに公表いたします。

【公表団体】

- 1 鈴鹿市土地開発公社
- 2 財団法人鈴鹿市事業管理公社
- 3 財団法人鈴鹿国際交流協会
- 4 財団法人鈴鹿市文化振興事業団

鈴鹿市土地開発公社

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成24年4月16日
 作成担当部署 総務部 管財営繕課
- 2 外郭団体名等
 鈴鹿市土地開発公社
 所在地 〒513-0801 鈴鹿市神戸1-18-18 電話 059-382-9675
 設立年月日 昭和48年7月12日
- 3 資本金 10,000千円(鈴鹿市の出資割合 100%)
- 4 事業内容
 公共用地, 公用地等の取得, 管理, 処分を行う。

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総資産	12,482,164	12,222,770
	負債	10,181,620	9,955,867
	(うち有利子負債)	9,841,984	8,814,855
	資本	2,300,544	2,266,903
	累積欠損金		

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	857,816	863,359
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)		
	経常損益	52,105	27,002
	当期損益	52,105	33,641
	減価償却前当期損益		

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 (.)	
	非常勤 11 (8 . 3)	300
職員	29 (28 .)	1,183

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 補助金(助成金)			
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計			
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用		190,000	
小計			
合計			

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 損失補償契約に係る債務残高	9,841,984		
② 貸付金残高	-		
③ 出資金	10,000	10,000	
合計	9,851,984	10,000	

8 地方公共団体による監査結果

指摘事項 特になし

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成24年4月16日
 作成担当部署 総務部 管財営繕課
- 2 外郭団体名等
 財団法人鈴鹿市事業管理公社
 所在地 〒513-0817 鈴鹿市桜島町7-1-1 電話 059-384-0050
 設立年月日 昭和58年4月1日
- 3 資本金 55,000千円(鈴鹿市の出資割合 100%)
- 4 事業内容
 公共施設管理運営
 駐車場事業

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総資産	173,036	178,546
	負債	31,572	28,546
	(うち有利子負債)		
	資本	141,464	150,000
	累積欠損金		

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	125,633	126,383
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	102,321	93,686
	経常損益	10,800	8,536
	当期損益	10,800	8,536
	減価償却前当期損益	7,574	9,149

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 1 (・ 1)	3,605
	非常勤 1 (・ 1)	300
職員	8 (・ 6)	25,241

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 補助金(助成金)			
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計			
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計			
合計			

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 損失補償契約に係る債務残高			
② 貸付金残高			
③ 出資金	55,000	55,000	
合計			

8 地方公共団体による監査結果

指摘事項 特になし

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成24年 4月19日
 作成担当部署 生活安全部 市民対話課
- 2 外郭団体名等
 財団法人鈴鹿国際交流協会
 所在地 〒513-0801 鈴鹿市神戸1-18-18 電話 059-383-0724
 設立年月日 平成5年6月1日
- 3 資本金 150,000千円(鈴鹿市の出資割合100%)
- 4 事業内容
 ①国際交流を推進する事業の計画及び実施
 ②国際交流に関する研修・啓発及び普及
 ③国際交流に関する情報の収集及び提供
 ④国際交流に関する調査及び研究
 ⑤国際交流活動への助成
 ⑥国際交流に関する業務の受託
 ⑦国際交流団体への援助及び協力
 ⑧その他寄付行為に記載された目的を達成するために必要な事業

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総資産	162,301	164,296
	負債	3,221	3,015
	(うち有利子負債)	0	0
	資本	159,080	161,281
	累積欠損金	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	26,885	27,962
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	22,348	22,759
	経常損益	380	2,202
	当期損益	380	2,202
	減価償却前当期損益	760	2,570

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費(千円)
役員	常勤 1 (0・1)	3,995
	非常勤 15 (0・1)	
職員	5 (0・0)	

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 補助金(助成金)	22,348	21,000	
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計	22,348	21,000	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計			
合計	22,348	21,000	

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 損失補償契約に係る債務残高	0	0	
② 貸付金残高	0	0	
③ 出資金	150,000	150,000	
合計	150,000	150,000	

8 地方公共団体による監査結果

指摘事項特になし

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

財団法人 鈴鹿市文化振興事業団

1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成24年4月16日
 作成担当部署 文化振興部 文化課

2 外郭団体名等
 財団法人 鈴鹿市文化振興事業団
 所在地 〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町810番地 電話 059-384-7000
 設立年月日 平成9年4月1日

3 基本財産 50,000千円 (鈴鹿市の出捐割合 100 %)

4 事業内容
 (1)文化事業等の企画及び実施 (4)鈴鹿市の文化施設の管理運営等
 (2)市民の自主的な文化事業等の活動への支援 (5)その他目的を達成するために必要な事業
 (3)鈴鹿市の文化事業等の受託

5 財政

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総資産	65,329	58,109
	負債	5,319	2,165
	(うち有利子負債)		
	資本	60,010	55,944
	累積欠損金		

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		21年度	22年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	57,909	49,535
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	28,642	31,334
	経常損益	△ 230	△ 4,015
	当期損益	△ 230	△ 4,066
	減価償却前当期損益	302	△ 3,365

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 (.)	
	非常勤 15 (4・3)	
職員	6 (3・0)	6,539

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 補助金(助成金)	25,642	28,334	事業費, 事務費, 江島カルチャーセンターの管理運営費
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計	25,642	28,334	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計			
合計	25,642	28,334	

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 損失補償契約に係る債務残高			
② 貸付金残高			
③ 出資金	50,000	50,000	
合計	50,000	50,000	

8 地方公共団体による監査結果

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

正 誤

1ページ、鈴鹿市土地開発公社表中に、下記のとおり誤記がありましたので訂正いたします。

6 役職員の状況

【誤】

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 (.)	
	非常勤 11 (8 ・ 3)	300
職員	29 (28 ・)	1,183

【正】

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 (.)	
	非常勤 11 (7 ・)	300
職員	29 (28 ・)	1,183

7 外郭団体への関与の状況 1) 公的支援

【誤】

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 補助金(助成金)			
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計			
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用		190,000	
小計			
合計			

【正】

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	21年度	22年度	
① 補助金(助成金)			
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計			
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用		1,900,000	
小計			
合計			